http://www.shiminkatudo-hachioji.jp/gorakuren/

９月号　　第２１７号
発行日　平成２１年9月１日（火）
発行所　八王子の碁を楽しむ活きいき連合
住　所　八王子市散田町３－３４－３
ＴＥＬ　（０４２）６６３－７６７６
発行人・渋谷　昭男
編集者・杉渕　清

碁楽連の目的

碁楽連は、八王子市内に居住する高年者が、囲碁を通じて親睦を図り、かつ、健康を維持できるようにその機会を提供し、高年者の福祉の増進に寄与することを目的とする。

ツキを得たいなら、親孝行せよ

碁楽連会長　渋谷　昭男

“親孝行をすれば勝負に勝つ”ということは昔から知っていた。孝行をすれば親は喜ぶ、自分もうれしい、すがすがしくなる。そういう感情の流れがツキをよぶ、と依田九段はいっている。案外ツキを大切にしているようだ。“親が居ない場合はそれに代わる身近な人を大切にすればよい”と、なんとなくわかるような気がする。続いて“対局中怒ったり不必要に恐れたりすることもよくない、おこったりするとまわりに迷惑、ツキも逃げる”という。

小学６年で上京院生となり、中２で入段、プロ棋士となって名人四連覇を成し遂げた人の言葉だけに重みがある。

更に一局の中で、ここで辛抱するかまたは一か八かの勝負にでるかの選択を迫られる場合があるが、その時は弱気で行くより強気で行く方が私の場合は結果的に良い場合が多い、安全に勝ちたいという気持ちは、かえって危ないともいっている。

ここは勝負師として当然であろうと思う、強気でいって失敗してもあきらめがつこうというものだ、また怒るとよくないということも理解できる。まして我々はアマなのだから勝っても負けても気持ちを大らかにもって楽しく打つのが肝心だとおもう。

さて私は依田九段のようにはいかないけれども、明日から早速親がいないから女房を少しだけ大切にして、怒らないように気をつけ楽しく打つことを心掛け、それからチャンスと見たら積極的な手を打つことを実行したいと思っている。

第 19 回　活きいき囲碁大会のご案内

長房大会

日時　　平成２１年１０月４日（日）受付午前 9 時００分～9 時３０分
会場　　長房ふれあい館（長房町 588 都営長房西１号棟　Tel　669-1433）
主催　　長房寿囲碁同好会（会長　塚原和利）
後援　　日本棋院　八王子市　八王子市教育委員会
参加資格　市内に居住している 60 歳以上で 10 級以上の囲碁愛好者
参加費　　７００円（弁当代を含む）非会員　８００円
競技方法　３ないし４のクラス別に行い、入賞者には賞品を進呈します。
申込先　　会長・塚原和利　長房町 200-46　Tel　664-5580
申込期限　９月２６日
　申し込み方法　なるべく所属同好会の会長を通して申し込んでください。
　注意事項　①自家用車でのご来場はなるべくご遠慮ください。
　　②失格にならないように定刻までにおいでください。

川口やまゆり大会

日時　　平成２１年１０月１８日（日）受付午前 9 時００分～9 時３０分
会場　　川口市民センター（川口町 3838(川口やまゆり館内)Tel　654-0722）
主催　　川口やまゆり寿囲碁同好会（会長　山下健吾）
後援　　日本棋院　八王子市　八王子市教育委員会
参加資格　市内に居住している 60 歳以上で 10 級以上の囲碁愛好者
参加費　　７００円（弁当代を含む）非会員　８００円
競技方法　３ないし４のクラス別に行い、入賞者には賞品を進呈します。
申込先　　会長・山下健吾　川口町 632-6　Tel　654-3175
申込期限　９月 30 日
　申し込み方法　なるべく所属同好会の会長を通して申し込んでください。
　注意事項　①自家用車でのご来場はご遠慮ください.
　　②失格にならないように定刻までにおいでください。

第 19 回活きいき囲碁大会の結果

･石川大会　７月２６日　石川市民センター

参加者

石川	北野	大和田	恩方	長房	中野	台町	淺川	由木	合計
２１	１３	１３	３	３	２	１	１	１	５８

Aクラス（７～４段）２０名

優勝　金本好正　石川／６段　準優勝　柳井光男　北野／４段

３位　松谷春夫　石川／７段

Bクラス（３段、２段）１８名

優勝　渋谷昭男　台町／３段→４段に昇格　準優勝　田村　強　石川／３段

３位　松野　勲　中野／３段

Cクラス（初段以下）２０名

優勝　市村光彦　石川／初段→２段に昇格　準優勝　中川寿夫　大和田／初段

３位　福島きみよ石川／２級

◎同好会だより

わが物造りの記

大和田寿囲碁同好会　会長　　井出　道明

物造りなどというより、わが手なぐさみという程度の話である。

小生記憶にもない幼少の頃から､機械･乗り物など動くものに興味が強かったそうな。買って貰った玩具で少し遊ぶと、その車体カバーの止めを曲げて外し、中のゼンマイ・歯車の動きを熱心に見入っていたものだと、母が言っていたのを覚えている。

小学生時代も図画･工作が好きで、粘土・木工細工・模型作りに熱中。又遊びも例えば画用紙など切り抜き､相撲力士をつくり､適当な力士名を背中に書いて友達と持ち寄り、ボール箱の土俵で組ませてトントン叩いて勝負を皆で笑いながら楽しんだものである。

“ 自作のものが空かける ” これが又気持ちのよいもの。ライトプレーンなる模型飛行機やグライダーもセットを買って作り飛行を楽しんだ。ライトプレーンはよく飛んだためか、皆それを飛ばすと今度は同じでは面白くないと、自分で型を考えて試行錯誤のあ

げく独自機を作ったが、思った程は“雄飛せず。やはり設計の力は大したものと感じたりした。

凧作りは近年までやった。孫が小さい頃、孫をダシに菱凧に風車をつけた。3 本の糸目のうち下の１本を糸ゴムに変えると、風を下向きに受け流すためか、何と殆んど頭上近くまで上昇したのには驚いた。こういう体験も又楽しい。

最後に囲碁セット。けい帯やならべ碁を目的に、コンパクトを主眼に市販のマグネットボタンが碁石。ホワイトボードに木目シートを貼って盤目線を引いて出来上がり。大きさは正式盤の約２／３サイズなので、手軽であり、旅行の車中や旅先で相手がいれば楽しめる。マグネットなので揺れも気にせず、寄せ枠をつければ 13 路盤･9 路盤局も可。9 路盤程度のミニ碁盤も市販にあるが、打つ実感・味わいははるかに（出来は下手でも）優っていると自負している。

投稿

頭から足まで

北野寿囲碁同好会　　安原　明

先日囲碁会の帰りにＹさん、Ｋさんとお茶を飲みながら雑談をした。話題はもっぱら健康問題でした。ウオーキングや家庭菜園など共通する話題も多く皆健康な生活に努力を払っていることがよく分かった。私の生活の健康対策の一端をご披露させて頂く。

頭を使うには囲碁はもちろん読書、俳句、川柳、音楽鑑賞を楽しんでいる。読書は定期講読の月刊雑誌数冊の他、新聞の書評欄で面白そうなものをインターネットで申し込んで近くの市立図書館で借りて読んでいる。誠に便利な世になったものだ。

体を動かすことは毎朝(冬は夕方)のウオーキングを食事の前４～５０分間、よほどの悪天候で無い限り行っている。ラジオを片手に、俳句や川柳を作りながら５千歩ほど歩くことになる。近くの大団地の緑道を通り大公園までの折り返しコースは四季折々の花を楽しむことが出来、私のお気に入りである。

ラジオ体操は食事の後８時４０分から、腰痛体操は予防を兼ねて自己流ではあるが夕食の前１５分ほどやるのが日課である。

家庭菜園は十数年前から３０坪ほどの土地を借りている。余り難しくない小松菜、小かぶ、大根などの葉もの、なす、胡瓜、トマトなど十数種類は毎年作っている。消毒薬は使わないため、葉はよく虫に食われるが余り気にしないことにしている。肥料は化成

肥料を使わず、台所のごみ、鶏糞、油粕と落ち葉の堆肥と有機農法である。農作業で一番大変なのは草取りで、雑草は作物よりも早く成長すると思われる程だが、皆同じ植物だから仕方が無いであろう。草取りを長時間やると腰痛に悩まされることになるから、一回１～２時間以内と時間制限を設けることにした。余り几帳面に作業しないで、いい加減にやっているのが長続きのコツかもしれない。

投稿

秀行と家康

北野寿囲碁同好会　　刀根　正樹

「碁は心なり。心正からざれば、碁も正しからず」

藤沢秀行、名誉棋聖の言葉である。無頼派、破滅型棋士といわれた。酒乱、借金王、女たらし。碁だけは、滅法強かった。

「碁の心とは、果たしてなんぞや」と私は、頭を悩ました。どこかに似た言葉があった。「剣は心なり。心正しからざれば、剣また正しからず」

剣聖上泉伊勢守は、殺人技の剣法に心を導入した。剣道の誕生である。殺人剣を、活人剣に向上させた。

秀行も剣聖の境地に達したのか。三度のガン闘病を克服した。晩年、秀行塾で、弟子を教えた。「勝負にこだわるな。碁は芸だ。腕を磨け。心を磨け。ふだんの生きざまが大事だ」

真摯な姿勢、生き方をすすめた。破滅型の影は消えた。「技術だけでは勝てない。人間を磨け。心を磨け。真剣勝負は、心乱れれば破れる。心の美しさが、全てだ」

剣士のごとき言葉である。宮本武蔵も美を求め、絵画や彫刻を残している。

北野市民センターの図書館で、徒然草を読んでいると、第百十一段に、囲碁の批判が書いてあった。「囲碁、双六を好みて、明かし暮らす人は、四重、五逆にもまされる悪事とぞ思ふと、あるひじりの申しし事、耳にとどまりて、いみじくおぼえ侍る」

佛語の四重罪とは、殺生、偸盗、邪淫、妄語である。また五逆罪とは、母を殺す、父を殺す、聖者を殺す、僧を仲たがいさせる。仏身から血を出す等である。

徒然草の兼好法師は、囲碁には厳しいことをいったが、一方では艶書の名人である。高師直の恋人、塩治判官の妻に恋文を書き、金をもらった。囲碁をののしった聖人も、また付文の依頼人ではないか。

碁の心には悪が住むのか。織田信長は碁を好んだ。比叡山や伊勢長島を焼打ちにし、多くの僧を殺した。本能寺で名人日海の試合を、酒をのみながら観戦した。不吉な三劫が出現し、明智光秀に殺された。兼好の文章通りの四重五逆ぶりの生涯である。

徳川家康はどうであろう。中年になってから、囲碁を覚えた。趣味の少なかった家康は、囲碁に熱中した。

家康はあるいは、碁の本質を秀行よりも理解していたのかもしれない。

碁を溺愛し、政治に活用し、敵を味方にした。そして心から囲碁に感謝していた。天下をとれたのは、碁から得た知恵と精神修養によるものと悟っていた。

関が原の合戦で倅の秀忠が信州真田城を攻めあぐねて、関が原の戦いに遅れた。家康は、碁を打てと教えた。「大局観がたりぬ。真田城、碁盤の一隅しか見えぬようでは、天下は治められぬ。碁を打ち、心を鍛えよ。読みの力を深めよ」

明治維新を成しとげた、大久保利通も、家康と同じ道を歩いた。

囲碁が新しい世を開くとはなんとすばらしいことであろう。

藤沢秀行名誉棋聖。平成２１年５月、肺炎で没す。

ＮＨＫの追悼番組に、秀行の辞世の書が踊った。

「強烈な努力」

左下側には、「努力」という字が、戦雲の黒龍のように暴れている。そして右の上側に、「強烈」という太く丸い文字が、日食の太陽のごとくゆらめき、強烈なコロナを熱く放っていた。

「これが秀行のいう碁の心なのか。いや秀行の魂そのものかもしれない」と私はつぶやいた。快よい鳥肌が立っていた。

◎第４回碁楽連理事会報告

日時　平成２１年７月２５日(土)9:00～11:00　東淺川センター

出席者　渋谷、刀根、塚原、望月、杉渕

１　各同好会へ下記事項について調査・推薦を依頼する

　　来年度の会場特認申請、表彰対象の高齢会員、各種囲碁大会の競技委員派遣

２　無所属研修部員に関し会則との整合性について、研修部との話し合いが報告された

３　初心者教室の実績報告

４　市民囲碁大会の実行委員会の態勢

編集後記　高校野球の粘りに驚嘆することしきり、毎年暑い夏に元気を貰っている。